

# 「インドアクッブ研修」実施要領

国立江田島青少年交流の家

## 1 内容

年齢、性別、体力などに関係なく楽しむことができるスウェーデン発祥の新投げ（的当て・陣取り）ゲーム「クッブ【Kubb】（インドア版）」を行う。

## 2 ねらい

- ・グループで活動し、協調性や一体感を養う。
- ・チームゲームを通して汗を流し、仲間との交流を深める。

## 3 対象者

小学校第5学年以上

（保護者または引率者と組んで活動する場合は小学校第4学年以下も可能）

## 4 人数

最大72人（全員が一斉に行う場合）

（1チーム6人 1コート最大12人）



## 5 実施時期、時間、場所

（1）実施時期 通年

（2）時 間 午前 9時00分～12時00分  
午後 13時30分～16時30分

（3）場 所

体育館（6コート） 講堂（4コート） 武道館（2コート） 海洋科学室（1コート）

その他研修室（3室×1コート）

## 6 準備物

（1）個 人：運動に適した服装 タオル 飲み物  
（体育館の場合）体育館シューズ

（2）引率者：救急バッグ（貸出可）

（2）交流の家（事務室）：クッブルールシート コート設置図  
（体育館倉庫）：インドアクッブセット  
（設置コート数分）



<インドアクッブセット一式>

## 7 指導及び安全管理

（1）団体は、インドアクッブの指導及び安全管理を行う。

（2）団体は、次の役割を担う。（小規模の団体は担当を兼ねることができる。）

- ・総括責任者（全体の総括、指導）・・・・・・・・・・・・・・・・・・1人
- ・指導担当者（用具の準備、後片付けの指示）・・・・・・・・・・1人以上
- ・救護担当者（健康観察、応急処置、AED設置場所の確認）・・・・1人以上

（3）事故発生時の処置

総括責任者は事故の状況を把握し、交流の家に携帯電話等で連絡する。

## 8 展 開

- (1) 「物品利用希望書」の提出  
団体は、「物品利用希望書」に必要事項を記入し、入所時までに交流の家へ提出する。
- (2) 研修の準備
  - ア 体育館倉庫からインドアカップセットを出す。
  - イ 救急バッグの貸出しを希望する場合は、事務室で受け取る。
  - ウ 研修生と一緒にコートを設置を行う。(参考資料「ルールシート」参照)
- (3) ゲームの説明, 指導等
  - ア 研修生を研修場所に集合させる。
  - イ 研修生の健康観察を行う。
  - ウ チームを編成する。
  - エ インドアカップセット及びルールシートを各チームに渡す。
  - オ 研修の目的, ゲームのルール及び進め方 (参考資料「ルールシート」参照), 注意事項を説明する。
  - カ ゲームをスタートさせる。
  - キ 研修生の様子を観察する。
  - ク 研修生に適宜休憩をとらせるとともに, 水分補給をさせる。
- (4) 片付け等
  - ア インドアカップセット及びルールシートを回収する。
  - イ 研修生の健康観察を行う。
  - ウ 順位を決定する。
  - エ まとめ (成績発表・講評) を行う。
  - オ 研修場所を清掃する。(床のモップ掛け, 掃除機掛け等)
  - カ 研修生とともにインドアカップセットを体育館倉庫に返却 (整理整頓) する。
  - キ 研修終了及び物品の破損の有無を事務室へ報告するとともに, 救急バッグを返却する。
- (5) その他  
インドアカップセット等が破損した場合は, 事務室に届け出る。(実費負担の弁償となる。)

## 9 連絡先

国立江田島青少年交流の家    Tel 0823-42-0660 (代表)  
0823-42-0661 (プログラム担当係)